

(対象期間：2020/8/17～2020/8/21)

【株式市場】 SENSEX指数の推移  
(2016年1月1日～2020年8月21日)

## 【株式市場】

週初、独立記念日（15日）のモディ首相の演説でインフラ投資の推進に言及されたことが好感されインド株式市場は上昇しました。翌日も良好な投資家心理が続き、続伸しました。19日は米中関係の悪化懸念が重石となったものの、小幅高となりました。20日は米FOMC（連邦公開市場委員会）議事録での厳しい経済認識を受けてアジア株安となる中でインドも連れ安となりました。21日はアジア株の反発を受けてインドも上昇し、週間でも上昇となりました。

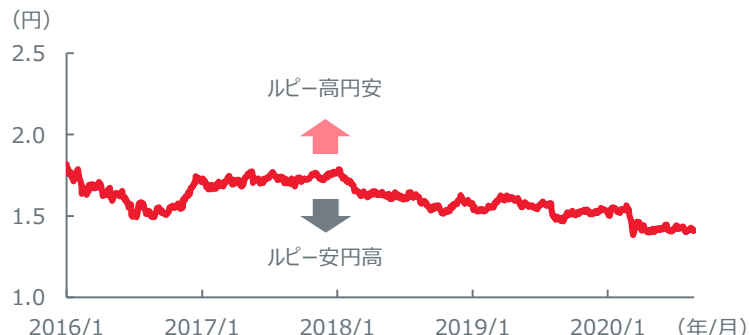
| 2020/8/14 | 2020/8/21 | 変化率    |
|-----------|-----------|--------|
| 37,877.34 | 38,434.72 | +1.47% |

【債券市場】 インド本国通貨建て10年国債利回りの推移  
(2016年1月1日～2020年8月21日)

## 【債券市場】

前週発表の消費者物価（CPI）を受けて目先の利下げ期待が後退する中、インド準備銀行（中央銀行、RBI）による新たな債券市場支援策が打ち出されないこともあり、週初から10年国債利回りは上昇（価格は下落）傾向となりました。20日は買い戻しの動きが出て、利回りは一旦低下しましたが、翌21日に8月初旬の金融政策決定会合の議事録がタカ派的と見られて再び利回りは上昇し、週間でも上昇となりました。

| 2020/8/14 | 2020/8/21 | 変化幅    |
|-----------|-----------|--------|
| 5.950     | 6.088     | +0.138 |

【為替市場】 インドルピーの対円レートの推移  
(2016年1月1日～2020年8月21日)

## 【為替市場】

週初の外国人投資家からのインド株式市場への資金流入がルピーの支援材料となった一方、米FOMC議事録で厳しい経済認識が示されたことを受けて投資家のリスク回避姿勢が強まった局面でルピーが売られたことから、ルピーは週間では対米ドルで小動きとなりました。一方、円が対米ドルで上昇したことから、対円では下落となりました。

| 2020/8/14 | 2020/8/21 | 変化率    |
|-----------|-----------|--------|
| 1.424     | 1.412     | -0.89% |

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル・グループ

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&amp;G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。